

来年から国保税が1万9千円(1人あたり平均)増加に？

日本共産党 柿沼市議 国保の広域化の影響、平和の問題で質す



本庄ケーブル
テレビから掲載

柿沼綾子議員の一般質問

国民健康保険の今後に関連して

【質問】

国民健康保険は国保以外の公的医療保険の対象とならない人々がすべて国保に加入することになっているという性格上、他の公的医療保険に比べて高齢者の加入率が高く、無職の方の加入者が多いという特徴があり、当然のことながら負担能力も高くない人たちが加入している保険である。

本庄市の保険税の所得に占める割合は、県内でトップの税率で、2016年の4月段階で、4人世帯で夫、妻が45歳、高校生と中学生の世帯で総所得200万円の場合一6、8%、総所得300万円で16、4%（県内で最高）、所得100万円の2人世帯でも16、3%（県内2番目）の高さとなっている。また、保険証のない資格証明書世帯が135、6ヶ月の短期保険証世帯は582で、すばぬけた発行数となっている。

来年2018年度からの国保の県単位化をひかえ、以下のことを伺う。

- 市が県に納めるという納付金の金額はいくらなのか、全額県に納付するということは滞納分は市が負担するのか、1700億円の国の財政支援はどうなるのか
- 保険料は今より上がるのか
- 市の法定外繰り入れはどのようになっていくのか
- この機会に、保険料の引き下げをしてほしいがどうか
- 健康推進のための健診の充実として人間ドックの拡充、ついでに、併診ドックの新設については
- 資格証明書などの発行をゆるめるにはどうするか

【答弁】

○納付金の額は22億3000万円が示されています。
○保険料の試算では県平均が11万6811円（131、45%増）、本庄市の1人あたり保険料が10万9430円（1万8千810円、120、76%増）となっている。来年1月に本算定の納付金と、標準税額が提示される。

○広域化後は原則法定外繰り入れは行わないと設定し、入れた場合は財政健全化計画を提出する。納付金の不足には県の財政安定化基金から無利子で貸付を受ける。

○今年度の法定外繰り入れが、新薬など医療費の高騰で5億円を超えている状況なので、保険料引き下げは困難。

○併診ドックは今後の課題とする。

○税負担の公平性の観点から法に従い交付していくが、

1. 平和を守る施策の拡充について

【質問】被爆国である日本の政府は、核兵器禁止条約交渉会議を開くよう求める国連総会決議に反対し、3月27日から

始まる核兵器禁止条約の交渉会議に参加するかどうかわだ決めていない。

市長は核兵器禁止を第一に考えていると発言されているが、平和首長会議に参加している市長として、国に対して日本が核兵器禁止交渉会議に参加し、禁止条約実現へ唯一の被爆国として努力するように申し入れる考えを表明してほしいかがか。

また、本庄市は、中学校で、被ばくパネル展を開き、ビデオの視聴など行っているが、広島・長崎の被爆者は80歳を超えているなか、生の話を聞く機会は失われつつある現状をふまえ、本庄市でも平和教育のなかで、埼玉県内にいる被爆者の話を聞く機会を設けることについて伺う。

また、広島市の被ばく2世の木、アオキリの植樹については実施するという答弁をいただいているが、いつどこに植樹するのか伺いたい。

【答弁】

○首長会議で交渉会議に出席してほしいという公開書簡を出しているのですが、このことで本庄市としての姿勢にかえたい。

○被爆者の生の声を聞くことも貴重な機会であるので再度調査研究していきたい。

○植樹は行っていくが、高さ15メートルにも成長するとされているので、場所の検討に手間取っている。

日本共産党
本庄市議会ニュース
No. 111
2017年 5月21日(日)

発行・日本共産党本庄市議会議員

市議会控室

本庄市本庄3-5-3市役所内

党本庄市委員会 21-2098

柿沼綾子 24-3508

生活相談はお気軽に

<http://www.jcp-saitamahokubu.jp/>

本庄市議会三月定例会報告

2月27日から開催されていた本庄市議会第1回(3月)定例会は3月22日に閉会しました。

今回は、税条例等の一部改正、保健センター設置及び管理に関する条例の一部改正、2016年度一般会計補正予算、2017年度一般会計、特別会計予算など、計35議案、および、議員提出議案として、現在22名の議員定数を1名削減する「本庄市議会議員定数条例」の一部改正案が提出され、賛成多数で可決されました。

2017年度予算に反対

—日本共産党—

アベノミクスの経済政策により、大企業や一部の富裕層には大きな恩恵がありました。国民には多くの苦しみが強いられ、格差がますます広がっています。資本金10億円以上の大企業の経常利益は2012年度と2015年度と比較して1.5倍近くに増え内部留保は52兆円も増えて過去最高の386兆円に達しましたが、働く人の実質賃金は伸び悩み、家計消費はマイナスです。増えたといわれる雇用も中味を見れば非正規雇用が多くを占め、年間新規求人数は210万人増えているものの、その半数以上はパートです。

今年度の予算には、がん検診などの個人負担の無料化が盛り込まれ、病気の早期発見と検診率の向上につながる施策が実施されていますが、以下の問題点も改善すべき点を上げて議論しました

- ◎ 法人市民税については、資本金資本金1億円以上の企業に対し、9.7%から12.1%の制限税率を課した場合、2016年度実績でみた場合250社4,300万円の収入が見込まれるので、こじつたかたちで増収を図る検討をすべき。
- ◎ 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰出し金をふやして不安定社会の中で健康を保持し、安心できる施策を進めること。

国民健康保険会計予算に反対 柿沼綾子議員

本庄市は県内の他市町と比べて保険料滞納に対する制裁がきつ、短期保険証743件、資格証162件の発行も、埼玉県内の他市町と比較してもずば抜けて多いこと、高額療養費の負担限度額の引き上げによる負担増などを指摘して、資格証などの発行を止めることを求めて反対しました。

(関連記事は裏面の国保関連一般質問に詳しく記載)

後期高齢者医療の改悪に反対

そもそもこの制度は、高齢者を75歳で差別し、高齢者の医療切り捨てをねらったものです。

今回保険料の所得割5割軽減が2割軽減に縮小され、1172人が影響を受け、元被扶養者に対する軽減の段階的縮小による影響も1161人が該当するという答弁がありましたので反対しました。

【2016年度の政務活動費報告】

年間192,000円(限度額)

柿沼綾子

支出合計 296,369円

(広報費、研究・研修、資料購入費等)

※詳しくは市議会事務局で御覧ください

柿沼綾子議員の所属

総務常任委員会副委員長

本庄上里学校給食組合議会議員

民生委員推薦会委員

日本共産党本庄市議会ニュース

No.111 2017年5月21日(日)

3月議会の主な議案に対する議員(会派)の態度

(○は賛成、×は反対、敬称略)

議案	日本共産党	市議団未来					平政倶楽部				市議団 大地			公明党		無会派			結果			
	柿沼綾子	巴高志	堀口伊代子	梶田平一郎	柿沼光男	早野清	明堂純子	清水達夫	広瀬伸一	小林猛	林富司	青木清志	富田雅寿	田中輝好	岩崎信裕	高橋和美	小暮ちえ子	清水静子		山口薫	町田美津子	金子喜美子
2015年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
2016年度国民健康保険会計	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
2016年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決